

地域創生	【代表的な研究テーマ】 □ 超高齢社会を豊かにするこれからの高齢者教育
key word	
■ 生涯学習 ■ 高齢者教育	課題解決に役立つシーズの説明 現在、日本は世界に例をみない速さで高齢化が進んでいます。この急速な高齢化は、わが国の医療や福祉に様々な「課題」や「問題」を引き起こしています。その背景には、高齢者を社会的弱者とみなす従来の「高齢者」観が反映されているように思います。しかし、現在、健康な高齢者は増加傾向にあり、その多くが現役で活躍し、地域の活性化にもいろいろな形で貢献しているのです。 こうした高齢者の社会参加を促進することは、高齢者自身や地域にとって次のような意義があります。例えば、多くの喪失を経験する高齢期において、地域の中で自らの知識や技能が必要とされ、役立っているという実感は、高齢者の有用感や生きがい感を高めます。活動を通じて人と人がつながることは、高齢者の社会的孤立化を防ぎ、ひいては地域の活性化にもつながります。 また、高齢者の健康に関して最近、「フレイル」という考え方が注目されています。フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の時期であり、要介護になりやすい手前の状態をさします。このフレイルの最初の入り口となるのが、地域社会や人とのつながりを失うことだといわれており、それゆえボランティアやサークル活動といった地域活動等への参加が、フレイル予防の効果的な方法として注目されているのです。 では、どうすれば高齢者の社会参加を促進させることができるのでしょうか。そのための重要なキーワードが「学び」と「仲間」の存在です。 内閣府が行った『高齢者の地域社会への参加に関する意識調査』では、多くの高齢者が「趣味などの活動を活発に行うための必要条件」として「一緒にする仲間」をあげ、また「どのようなきっかけがあれば活動に参加するのか」に対しても「友人、仲間のすすめ」をあげています。社会参加に仲間の存在が大きく関わっていることがわかります。 こうした仲間づくりの効果的な場となるのが「学びの場」です。これまで地域に縁の薄かった人でも、興味のある学習機会であれば抵抗なく一人でも参加できるでしょう。そして興味・関心のある学びに参加すれば、そこには同じような興味・関心を持った人たちがたくさん集まってくるのです。相手との間に共通の接点があるということは、コミュニケーションを円滑に進める上で非常に重要なことです。さらに、一つのことを学び合うことが、人間関係をより親密なものにし、互いの信頼を高めるのです。こうした学びを通じた人間関係の深まりが、学習成果を生かす際の大きな力となるのです。 それゆえ今後、高齢者の社会参加を目指した学習機会を提供する際には、単に知識を与えるだけのプログラムではなく、学びを通じての仲間づくりを意識したプログラムづくりを意識すべきです。学習者同士のつながりだけでなく、地域ですでに活動している人とつながる機会を学びの中に含めることもいいでしょう。学びの場を通じた多様な人との出会いが、学びを生かした社会参加のきっかけになるのです。 私は以前、20年にわたって、「淡海生涯カレッジ」事業を実施してきました。これは、全20回にもわたる環境学習の機会であり、学びを通じた仲間づくりを意識した事業でした。受講生の多くは高齢者です。この長期にわたる学びの中での受講者同士の親密なつながりの結果、学習終了後、「環境しがの風」、「石山ネイチャー倶楽部」、「葉山川探検ネットワーク」等、多くの自主学習グループが結成されました。体系的に学び続けてきた自信とともに、カレッジでの学びの間に深めてきた仲間との交流・絆が、学習者が学習の成果を実際に様々な形で生かしていく原動力になったと考えています。 学びは、高齢者に力を与え、人と人をつなぐことで、彼らの社会参加への思いを後押しすることができます。これからも高齢者が社会と関わりながら、生きがい人生を送り、そして豊かな地域社会づくりの担い手となることに、社会教育が貢献していくことを期待したいと思います。
	
神部 純一 Junichi Kambe	
教育学部 教授	
【プロフィール】 ・1987年 同志社大学文学部卒業 ・1993年 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期単位取得退学 ・2012年～ 滋賀大学社会連携研究センター教授 ・2019年～ 滋賀大学教育学部教授 【主な社会的活動】 ●所属学会 ・日本生涯教育学会 ・日本社会教育学会 ●委員 ・滋賀県社会福祉協議会 ・レイカディア大学運営委員会 ・滋賀県社会教育委員連絡協議会 ・長浜市社会教育委員 ・伊丹市社会教育委員 ・草津市子ども・子育て会議 ・東近江市男女共同参画審議会 ・京都市放課後対策事業検討委員会 等 ●講演 ・「高齢期をもっと豊かな時期にするために」(彦根市) ・「社会教育が地域を豊かにするー地域学を通じてまちづくりの種を育てようー」(兵庫県) ・「行動する社会教育委員を目指す」(滋賀県) 等	企業・自治体へのメッセージ ・地域づくりの担い手育成に関するシステムの共同開発・共同研究を希望します。 ・高齢者の社会参加に関する共同研究を希望します。